

## 令和 6（2024）年度 資源評価調査状況報告書（拡大種）

### マハタ日本海

対象水域	日本海	参画機関名	水産研究・教育機構 水産資源研究所 底魚資源部、青森県産業技術センター 水産総合研究所、秋田県水産振興セン ター、山形県水産研究所、新潟県水産 海洋研究所、富山県農林水産総合技術 センター 水産研究所、石川県水産総 合センター、福井県水産試験場、鳥取 県水産試験場、島根県水産技術センタ ー
------	-----	-------	---

- ・ 令和 5 年度資源評価調査報告書を公表済み（[https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2024/03/trends\\_2023\\_264.pdf](https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2024/03/trends_2023_264.pdf)）、次回令和 8 年度を予定

#### (1) 調査の概要

- ・ 機構は生物情報収集調査および漁獲情報の集約を実施
- ・ 各県は漁獲統計調査を実施
- ・ 本年度は資源評価調査報告書の作成は行わず、漁獲統計等の更新および関連情報の収集を実施

#### (2) データ収集状況

- ・ 青森県では2018年以降の主要21港の漁獲量を収集済み
- ・ 秋田県では2016年以降の漁獲量を収集済み
- ・ 山形県では2021年以降の漁獲量を収集済み
- ・ 新潟県では2021年以降の上越地区における漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 富山県では2021年以降の一部漁協の漁獲量を収集済み
- ・ 石川県では2020年以降の主要10港における漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 福井県では2021年以降の越前港を除いた漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 鳥取県では2011年以降の漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 島根県では2021年以降の漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 機構では文献等から生物学的情報を収集整理するとともに、各県収集の漁獲情報を整理中

#### (3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：令和 5 年度資源評価調査報告書を参照（[https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2024/03/trends\\_2023\\_264.pdf](https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2024/03/trends_2023_264.pdf)）
- (2) 年齢・成長：同上

(3) 成熟・産卵：同上

(4) 被捕食関係：同上

(4) 備考

- ・対象海域では基礎的な生態学的知見が乏しいが、十分な標本が得られる見込みはな  
く、漁獲物の組成調査や基礎的生物学的情報の集積は困難
- ・一部の漁港ではマハタとして区別された漁獲量集計値が得られるものの、キジハタ等  
の他種と区別せずに集計された値しか得られていない漁港が多い
- ・雌性先熟雌雄同体であるため、資源管理には若齢魚を取り残す方策の検討が必要